

美馬保健所 感染症情報

2009年
3月号
(通巻100号)

(今月のトピックス 新型インフルエンザ)

全国 全数届出疾患(1~3類感染症)

2009年第1週~第9週(12/29~3/1) 全国では、2類感染症(結核3,509件)、3類感染症(腸管出血性大腸菌感染症125件、細菌性赤痢23件、腸チフス2件、コレラ1件)の報告があった。

管内(美馬市、つるぎ町) 定点観測疾患(5類感染症)

2009年第4週~2009年第9週(1/19~3/1) 管内ではインフルエンザ342件、咽頭結膜熱17件、水痘38件、感染性胃腸炎26件、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎18件、突発性発疹2件、流行性耳下腺炎2件、RSウイルス感染症1件、手足口病1件の報告があった。

(第9週(2/23~3/1)美馬保健所管内でインフルエンザ、咽頭結膜熱の警報が発令されました。)

類別	疾病名	徳島県		美馬市、つるぎ町	
		1/19~3/1	2009年累計	1/19~3/1	2009年累計
2類	結核	15	22	2	2
3類	腸管出血性大腸菌感染症		12		
4類	A型肝炎	1	1		
4類	つつが虫病		2		

1月19日~3月1日の状況

徳島県で、結核が4週(1/19~1/25)に2件、5週(1/26~2/1)に3件、6週(2/2~2/8)に1件、7週(2/9~2/15)に5件、8週(2/16~2/22)に2件、9週(2/23~3/1)に2件、三好保健所管内でA型肝炎が6週(2/2~2/8)に1件、報告があった。

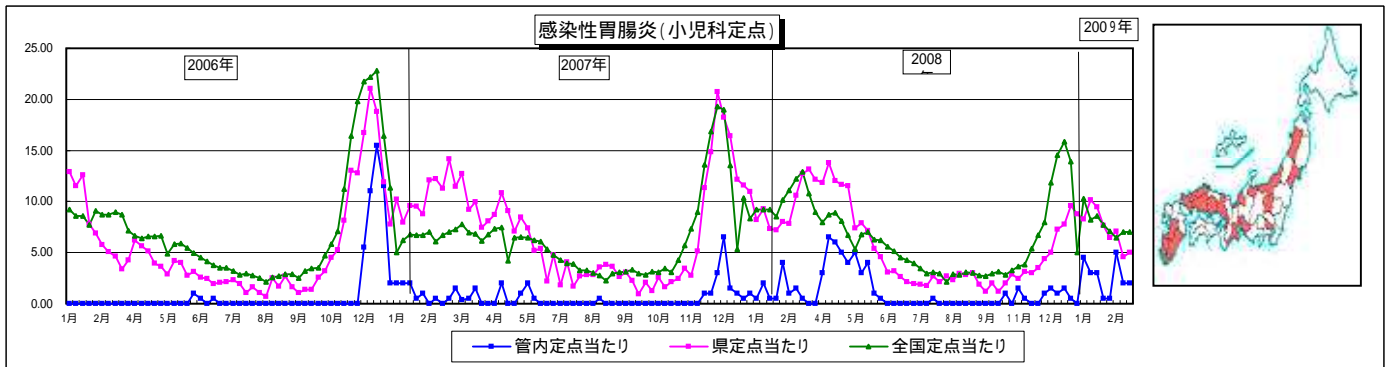
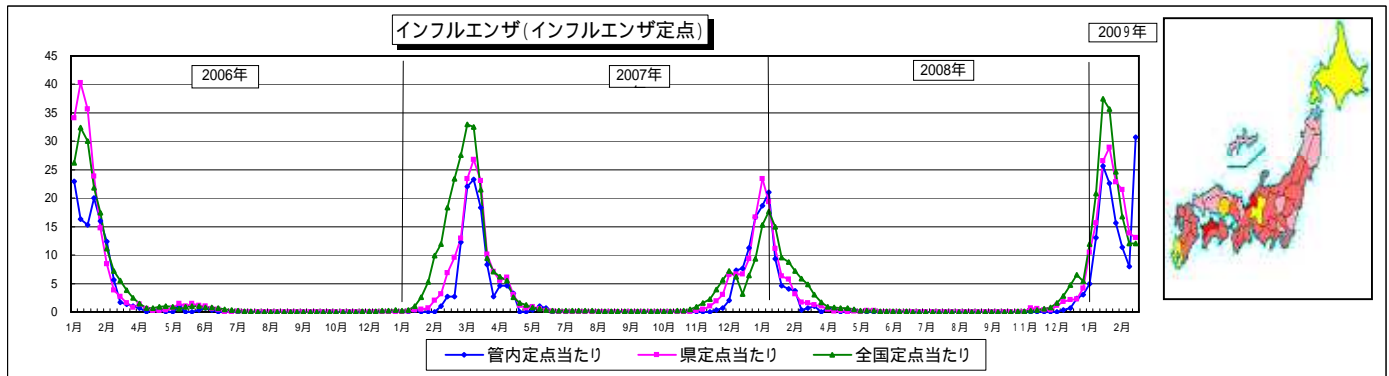
今月の注目すべき感染症

(定点観測疾患(5類感染症))

- * インフルエンザは第5週(1/26~2/1)がピークで減少に転じたようですが、県内での学年・学級閉鎖の報告が第9週(2/23~3/1)の時点でも続いており例年の約6倍になっています。第9週には医療機関からの迅速検査結果での報告でB型が約8割になっています。

感染性胃腸炎は阿南保健所管内で第5週~6週まで警報が続いていました。美馬保健所管内でも注意が必要です。

(2006年1月16日~2009年3月1日)



警報・注意報の全国マップ地図 {第9週(2/23~3/1)のマップ図}
警報・注意報の保健所が一箇所でもある場合塗りつぶされています。

注意報(黄色)

警報(赤色が濃いほど警報の保健所が多い)

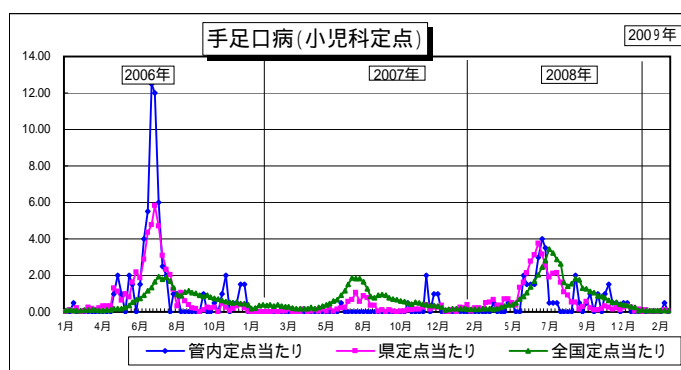
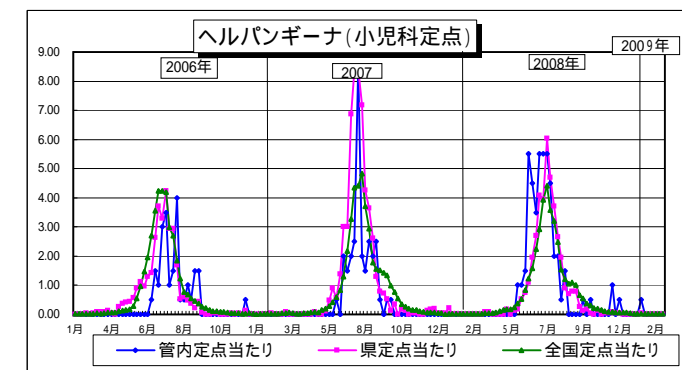
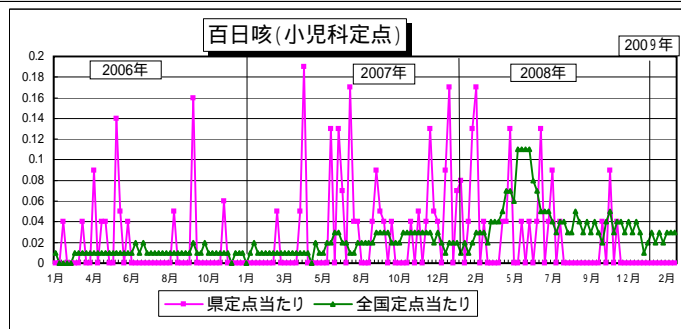
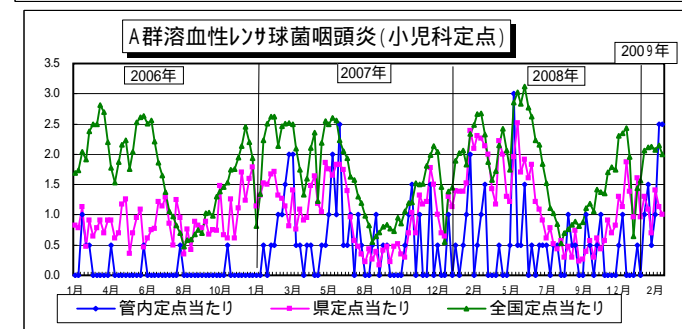
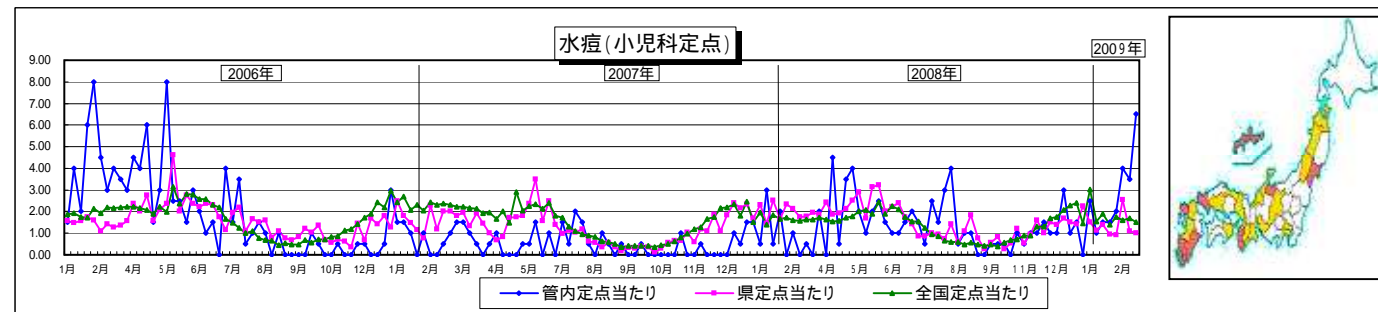
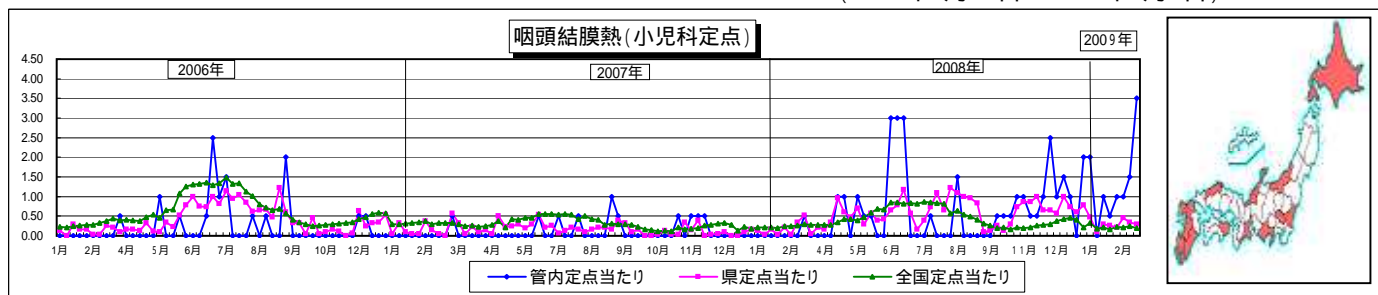
(定点観測疾患(5類感染症))

第9週にインフルエンザの警報が徳島、美馬保健所管内、注意報が阿南、吉野川保健所管内で発令されています。
 県内と同様に美馬保健所管内でもB型のインフルエンザの割合が多くなっています。
 管内では咽頭結膜熱が第9週に警報、水痘が第7週と第9週に注意報が発令されています。
 十分な感染予防を心がけてください。

疾病名	(管内)					
	4週 1/19 - 1/25	5週 1/26 - 2/1	6週 2/2 - 2/8	7週 2/9 - 2/15	8週 2/16 - 2/22	9週 2/23 - 3/1
インフルエンザ	77(7)	68(16)	47(15)	34(16)	24(14)	92(60)
咽頭結膜熱	2	1	2	2	3	7
水痘	3	3	4	8	7	13
感染性胃腸炎	6	1	1	10	4	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	3	1	2	5	5
流行性耳下腺炎	1			1		
突発性発疹		1				1
RSウイルス感染症			1			
手足口病					1	

()内B型

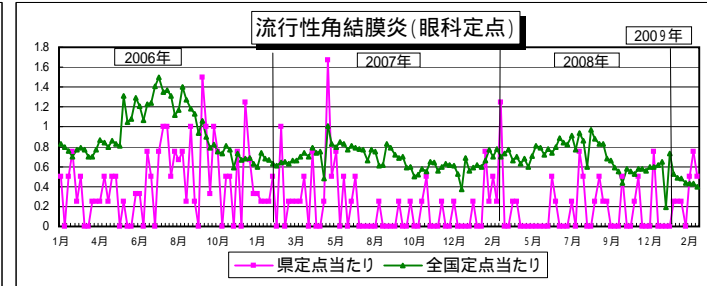
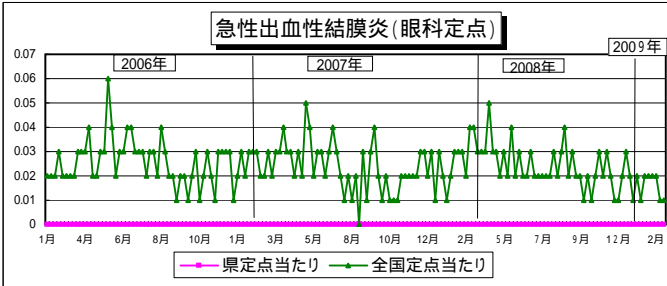
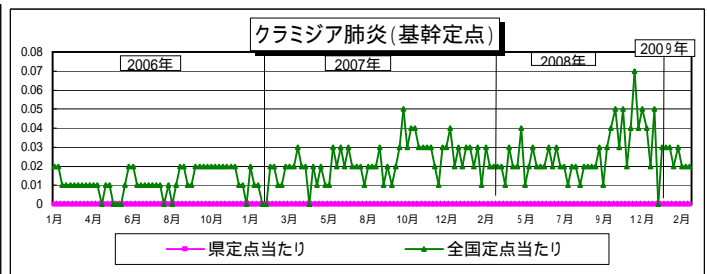
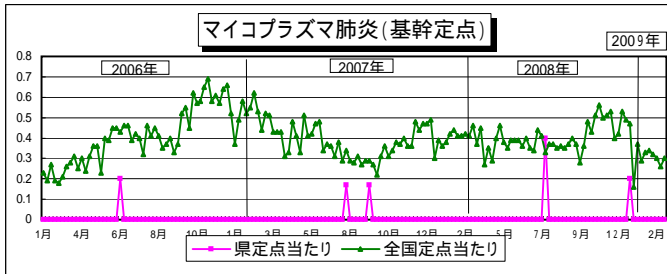
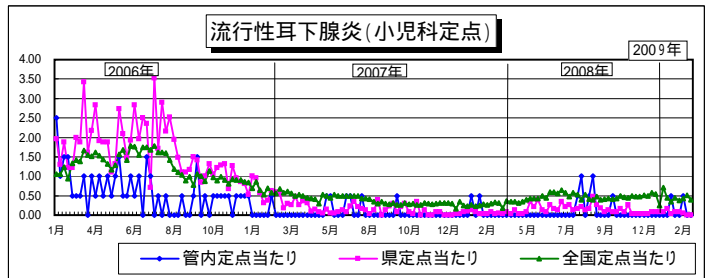
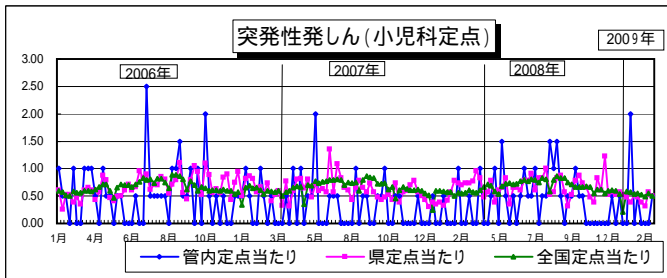
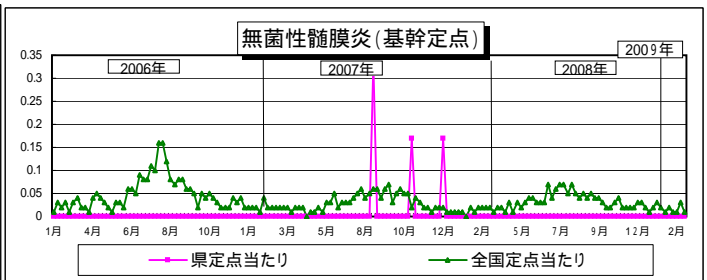
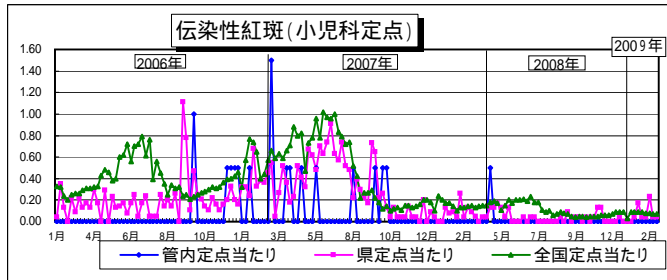
(警報 注意報)
 (2006年1月16日 ~ 2009年3月1日)



(定点観測疾患(5類感染症))

その他の感染症

(2006年1月16日～2009年3月1日)



100号を迎えるにあたっての御意見ありがとうございました。頂きました御意見を掲載させていただきます。

病院から

- ・中学1年、高校3年に相当する年齢の者に対する麻疹、風しんの予防接種の接種率が悪く、全国平均でも徳島県は下まわっている。保護者の予防接種に対する意識の低下が考えられる。将来学校での集団接種が検討されている様ですが、学校側も学生の接種の有無を確認することも必要でないかと思ます。
- ・感染症に罹患したら病院側としては学校へ連絡する様保護者に伝えていますが、解熱したらすぐ登校している生徒もいるようなので、感染を防ぐためには学校側も治癒証明書を出してもらおう様にするというのはどうでしょうか。

施設から

- ・新型インフルエンザの対策と予防について取り上げて欲しい。
- ・感染症情報紙について県内、管内での感染症の発生状況がわかる、感染症の話や注意点について記載されているため参考になる。

(新型インフルエンザについては今月号を含め随時トピックスに掲載しようと思っています。)

新型インフルエンザについて

新型インフルエンザとは？

動物、特に鳥類にのみ感染していた鳥インフルエンザが遺伝子の変異によって、人の体内で増えることができるようになり、さらに、ヒトからヒトへと感染するようになる感染症です。

新型インフルエンザウイルスは、誰も免疫を持っていないため、急速な世界的大流行を起こす危険があります。ヒトからヒトへ感染する新型インフルエンザの世界的流行は10年～40年程度の周期で過去に起こっています。誰も免疫を持っていないため、流行すると短期間の間に4人に1人が感染すると考えられています。

新型インフルエンザを予防するために

熱、咳、くしゃみなどの症状がある人は、マスクを着けましょう。咳やくしゃみは見えない唾液をとばします。人にうつさないためにマスクを着けましょう。

手洗いうがいをしましょう。
帰宅時、食事前には手洗いうがいをしましょう。

人混みや繁華街への外出を控えましょう。

換気をこまめにして、湿度は50～60%温度は20度程度に保ちましょう。

地域で助け合いの輪を作っておきましょう。
普段から声をかけあい、流行時には地域で助け合いましょう。

新型インフルエンザに備え

流行期の外出をひかえるため、2週間程度の食料・日用品を備蓄しましょう。

手洗い

手洗いは、流水と石けんをつかって15秒以上かけ手のひら、手の甲、指先と付け根、親指、手首も忘れずに洗いましょう。洗った後は水分を十分に拭き取りましょう。流水が使えないときはアルコールを含んだ手指消毒薬を使いましょう。

咳エチケット

咳やくしゃみなどの症状がある時はマスクを着けましょう。マスクを着けていないときティッシュなどで口と鼻をおおひきましょう。鼻汁や痰はティッシュペーパーにだし、蓋つきのゴミ箱に捨てましょう。

食料品

主食類(米、乾麺、切り餅、乾パン)

インスタント・レトルト食品(ラーメン・おかゆ・シチュー)

缶詰(フルーツ、魚類)

飲料(ミネラルウォーター)

菓子類

日用品・医療品

マスク(不織布：飛沫を防ぐ)

ゴム手袋

鎮痛・解熱薬(アセトアミノフェン系)

常備薬(胃薬、持病の処方薬)

ばんそうこう、包帯、ガーゼ

災害時にも便利な物品

懐中電灯、乾電池

ラジオ、携帯テレビ

携帯電話の充電キット

カセットコンロ

トイレトペーパー、ティッシュペーパー

ビニール袋(大、小)

オムツ、生理用品

シャンプー、リンス

キッチンラップ

新型インフルエンザがスペインインフルエンザクラスと仮定した場合の被害推定 (人口比で推定)

	全国	徳島県	管内
罹患者数	約3,200万人	約20万2千人	約1万1千5百人
医療機関受診者数	約2,500万人	約16万人	約9千1百人
入院が必要な患者数	約200万人	約1万3千人	約750人
死亡者数	約64万人	約4千人	約230人

(参照 徳島県新型インフルエンザ対応ハンドブック)

<http://www1.pref.tokushima.jp/004/03/infuruenza/handbook.pdf>

感染症について詳しくお知りになりたい方は
国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
をご覧ください。

美馬保健所 感染症情報

平成21年3月10日発行

感染症情報についてのお問い合わせは

TEL-0883-52-1017

FAX-0883-53-9446

mail:seibu_hfk_mmh@pref.tokushima.lg.jp